

よい議会ってなんだろう？

ver1.5 Mar.2015



代議院に行こう2015



produced by Tatsuloupy

第1章
市民と議会の不幸な関係



また演説している人がいるわね。

市議会選挙が近いからね。



この前、選挙したのばかりと思ってたのに月日の経つのは早いわね。

それは衆院選よ。



そっか
てへぺろろ

全く、おとぼけね。

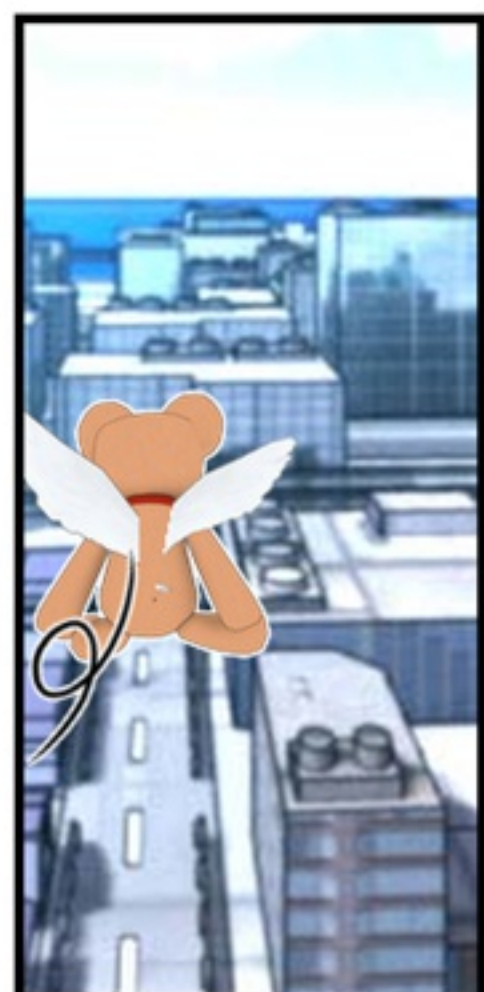
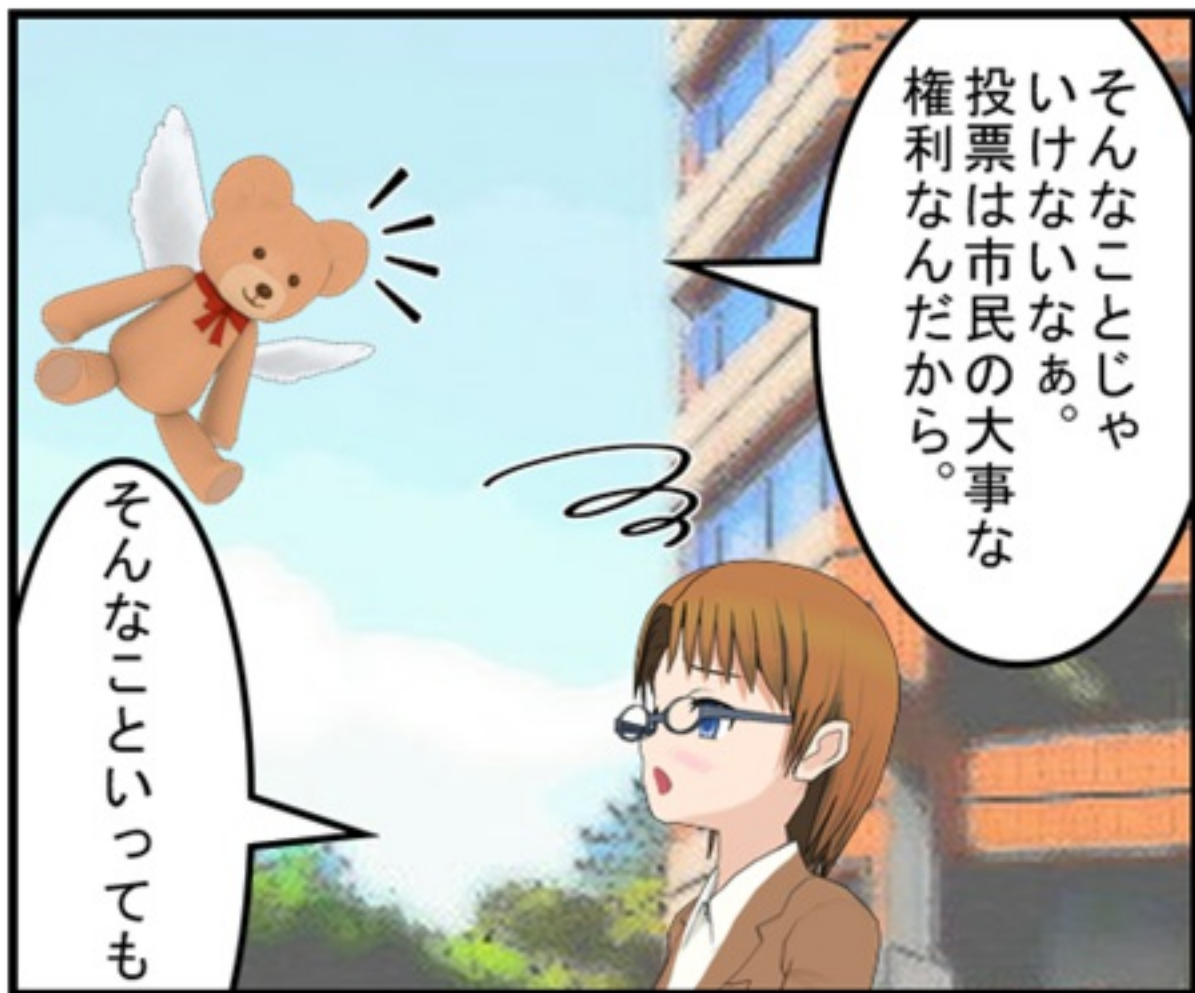


でも、市議会って何してるかわからないし、知っている議員もいないし。

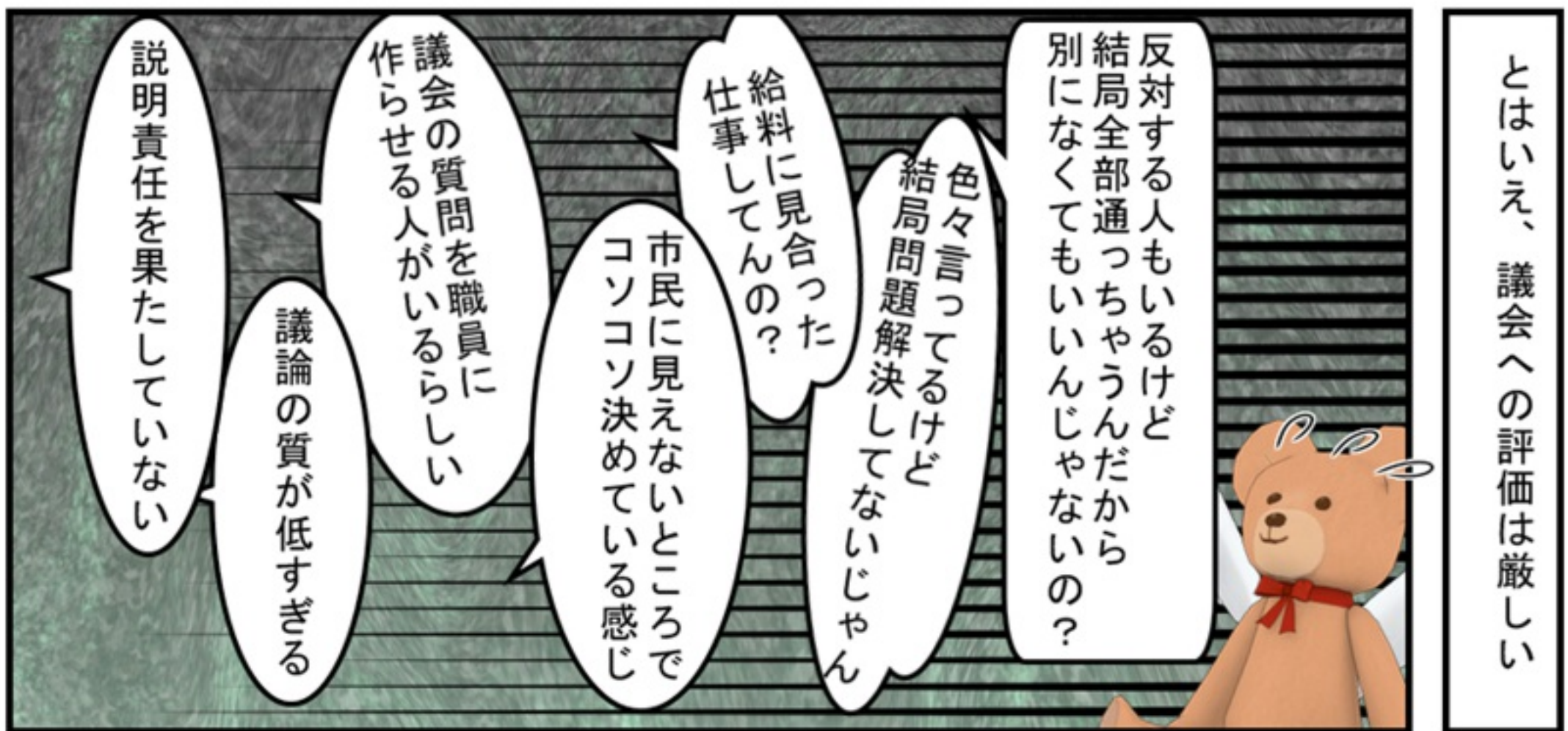
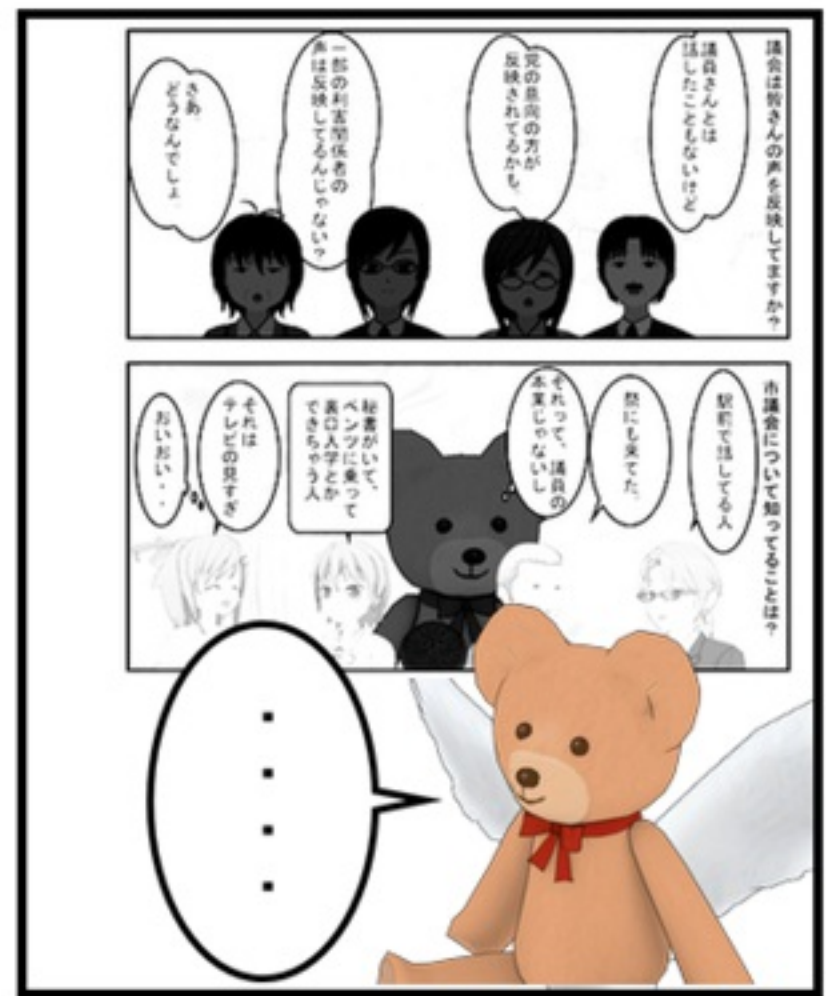
そうねえ
投票に行っても
しようがないかなあ。

...









もちろん議員としても
言い分はある。

予算案を出せるのは
市長だけだから議員は
突っ込み入れるぐらいしか
できないのよ。

市の仕事は幅が広い
から、全部細かくは
わからないわ。

4年間
任せてくれれば
いいのよ。

投票もしないのに
勝手なこと言ってる

そんなこと言っても
誰も議会なんて
見てないでしょ。

結局、実行するのは
行政だから。

反対意見を言っても
聞こうとしない市長と
与党が問題よ。



うーん。
市民は議会のことを
あまり知らないし、

議員もあまり
市民のことを
知らない感じだなあ。

これって、
あまり良くないことだけど、
でも、どうやったら良い議会に
なるのかなあ。



作者のひとこと

マンガでの財政解説に続いて、
マンガでの議会改革の説明に
挑戦してみました。

小金井市では数年前から議会基本
条例の制定へ向けた動きの中で、
議員研修会や議会報告会の試行が
行われてきました。

その中で法政大学の廣瀬先生の
講演会が特に印象に残っています。
議会の役割の重要性と改革の必要性
に気づかされた思いでした。

その一方で、市民にはやはりまだまだ
議会の役割や議会改革の重要性が浸透
していないと感じています。
そして、それが

「議会改革より選挙が大事」
とばかりに、任期の半年前に
基本条例の制定を投げ出すことになっ
た背景なのではないかと思っています。

講演を聞いたときから、いつかマンガ
でわかりやすく説明してみたいと
思っていました。構想がなかなか
まとまらず、かれこれ1年以上経って
しまいました。

でもせめて、3月の選挙までには間に
合わせようと、荒削りながらもなんとか
完成に持ち込みました。
感想、意見など頂ければ幸いです。

(2012年12月記)



第2章

よい議会って何？

よい議会ってなんだろう？
詳しい人に聞いてみることにした



ん。
よく来た。

こんにちは先生

まず最初に
議会について話す。

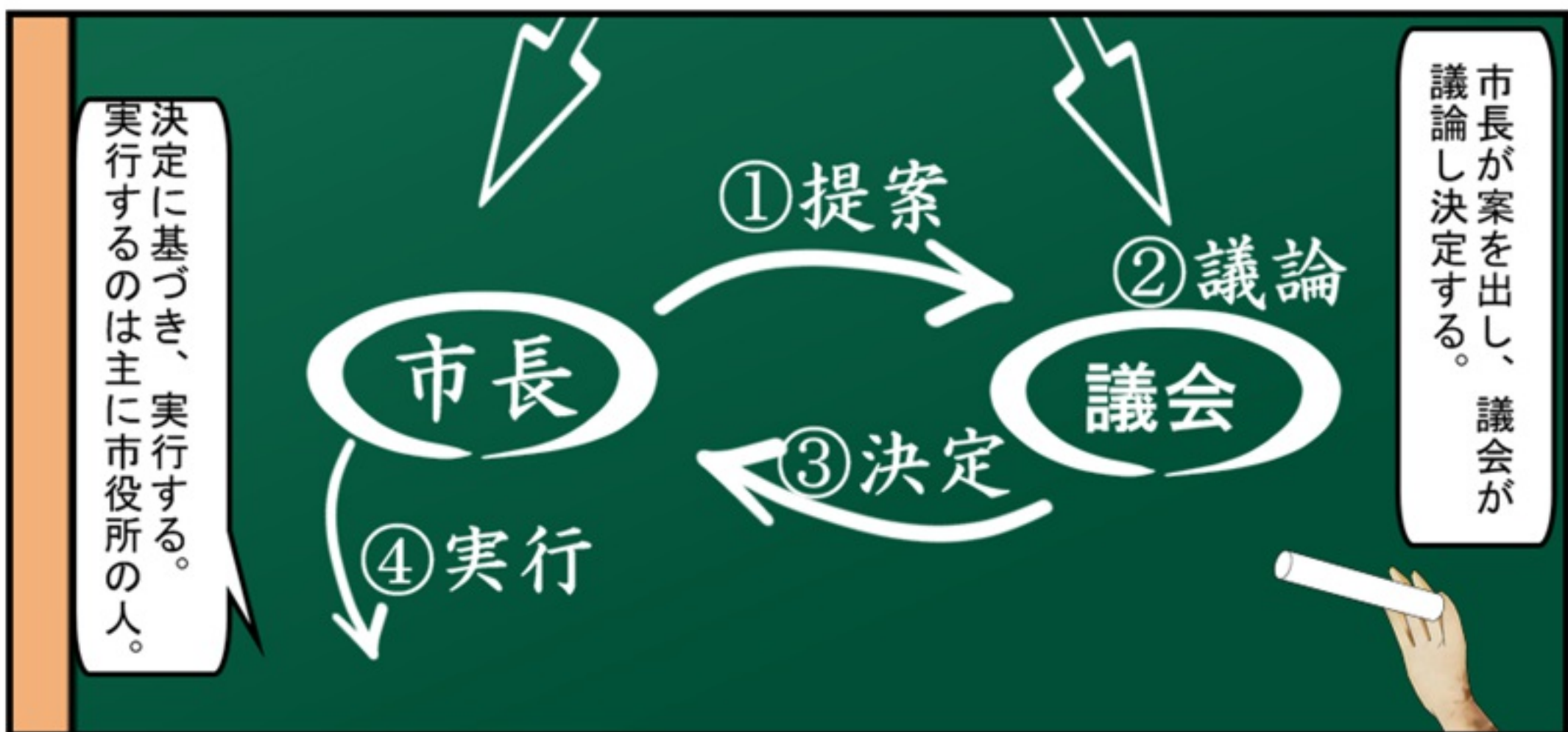
いきなり
難しいことを聞くね。

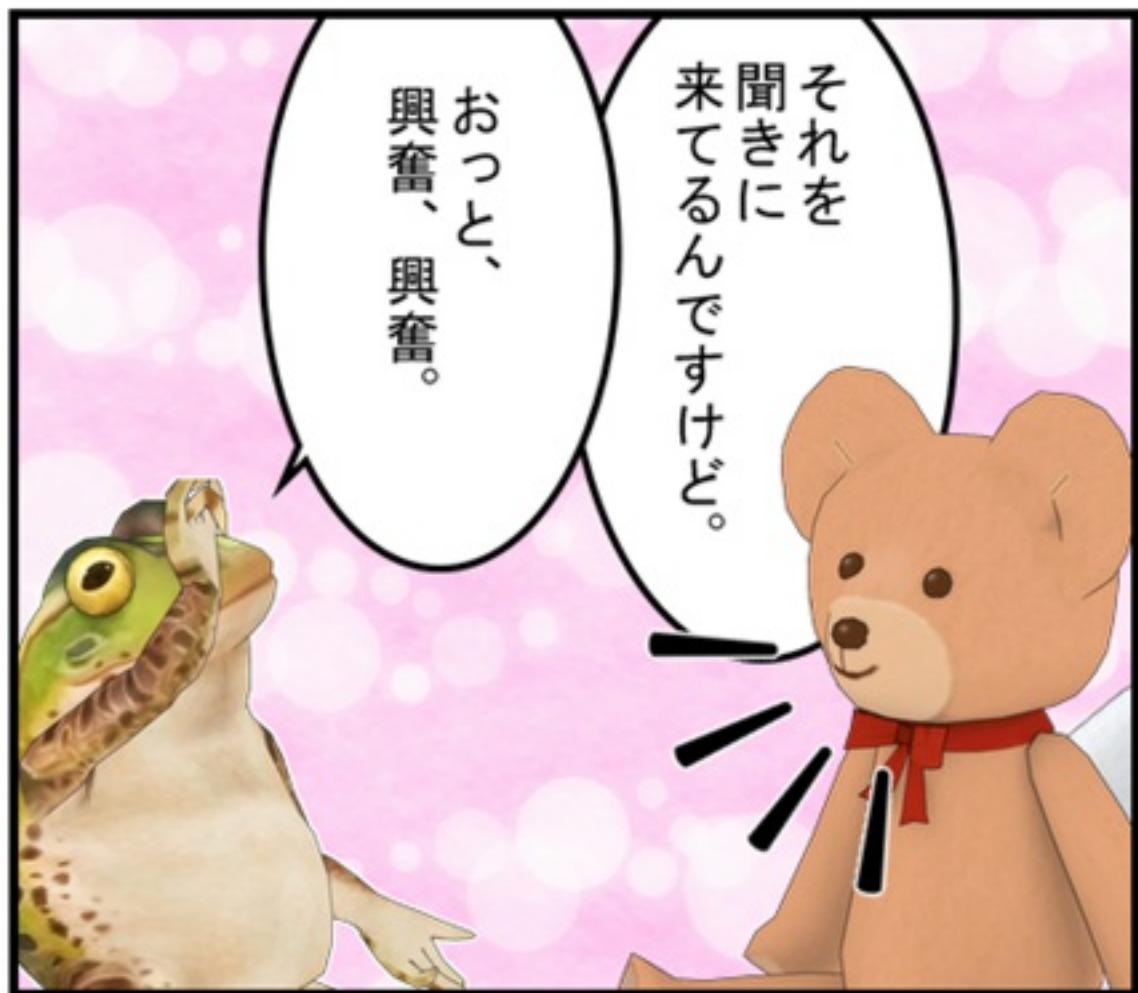
突然ですが、
よい議会って
何ですか？

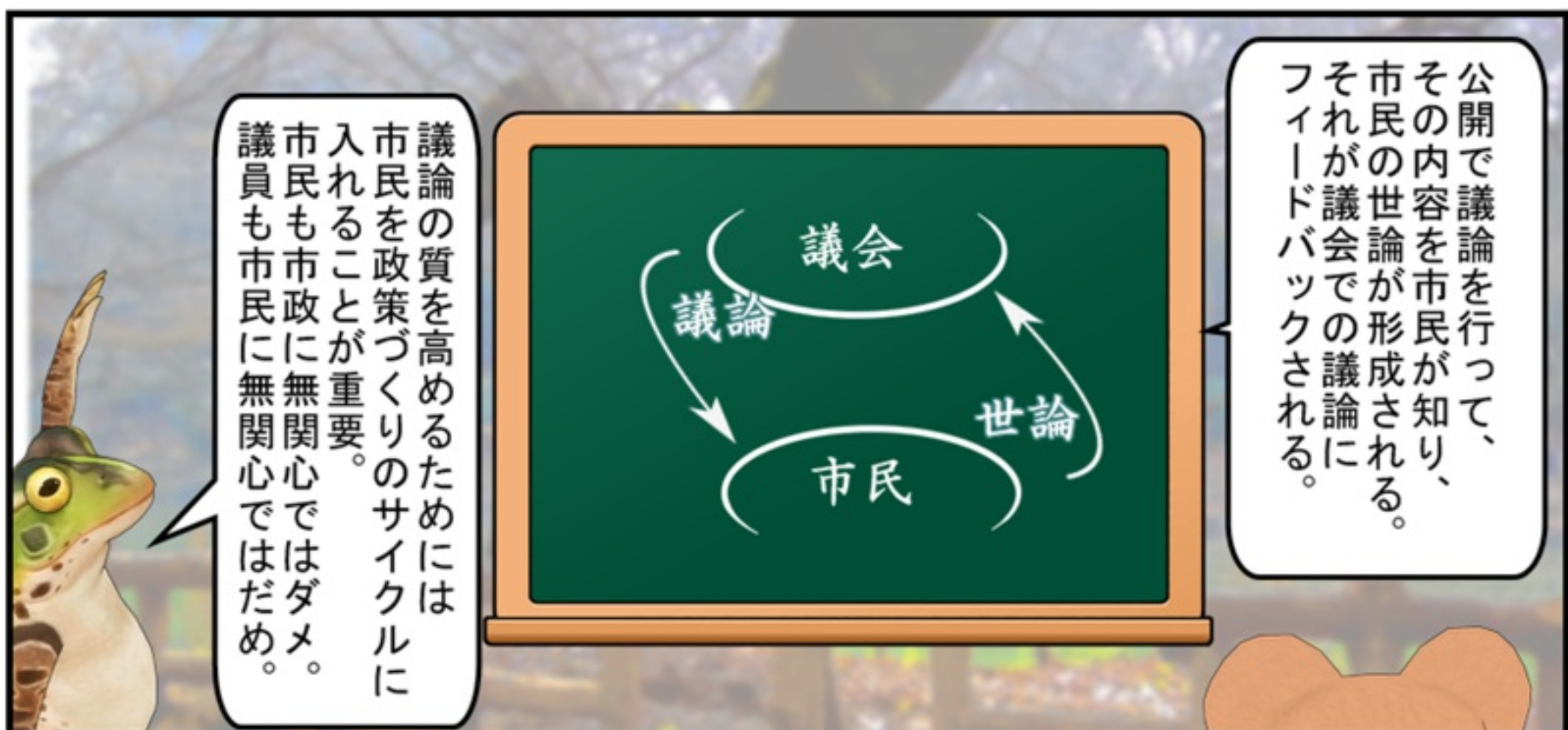
最初に市民ありき。
市民がいての市政。
だから一番上に書く。

市民

はあ。







よい議会の条件

- ・公開の議論で政策を練り上げる
- ・市民の意見を常に吸い上げる
- ・市民の目線で市政をチェック

まとめるとこう。



単に市長が市民から意見を承るだけでは優しい専制君主と変わらない。その政策の選択がそれでよいのか。議論がないと民主的とはいえない。

なるほどわかりました。



作者のひとこと

そもそもよい議会ってなんなのか。議会が良くなるって何かよいことがあるのか。イメージできない市民が多いと思います。私もその一人でした。今でも実感としてわかるところまで来ていないと思っています。

理想の議会というものが簡単にできないというのを踏まえながらも、まずはよい議会とは何なのか。議会の議論が深まるとなぜよいのかを、あまり複雑にならない範囲でわかりやすく説明することを目指しました。

一番のポイントは公開で議論をすること。市民の世論を喚起し、市民を議論のサイクルに巻き込むことで政策をよくしていこうという点と考えています。

本当はもっといろいろなポイントがあるのですが、いろいろなポイントが

先生のキャラクターをカエルにしたのは、それほど大きい意味はありますが、それかにも先生然とした人間に語らせると嫌味になりそうなので、ちよつとぶつきらばうなカエルに言わせることで緩和している。



第3章

よい議会について語ろう。

今日はいい話を聞いた。
さっそくみんなに教えよう。



現実には
そんなの無理

そんなの建前

机上の空論

市民に負担を
負わせるの？

あううっ



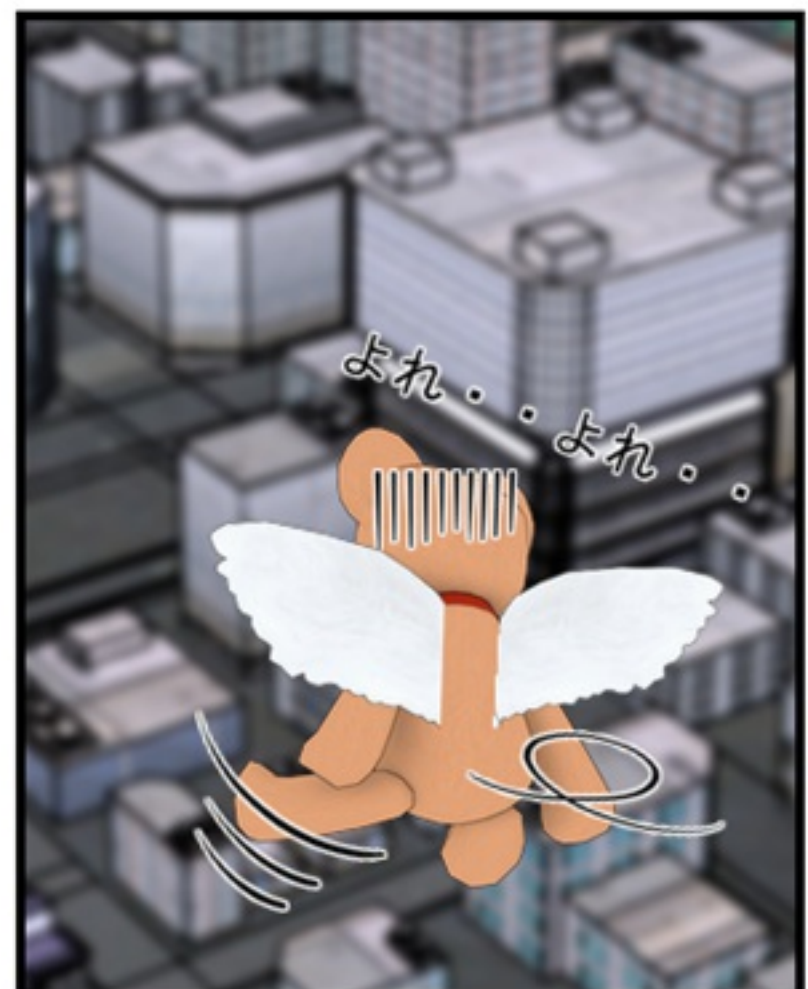
先生。
よい議会を
実現するのは
難しいです。

難しいのは当たり前
簡単だったなら
みんなやってる。
市民も努力が必要だ。

そろそろ
私の出番かな。



よれ...よれ...





めんどくさーい。
こっちは仕事とか家庭で
忙しいんだから。
投票したら4年間お任せしたい。



ま、それでも
いいんだけど。



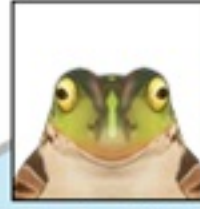
先生！



ところで、誰に投票するか。
どうやって決めてるの？



政党とか。若さとか。
既得権に関係なさそうとか。
行動力がありそうかとか。



若くて行動力がありそうで、
既得権も関係なさそうな人が
あなたの望まないことを
決めてもOKかい？



ケースバイケース
・・・かな。



例えば、その公園を
ゴミの集積場にするとしたら。



許さない！



若くて、行動力もあって。
利権とも関係ないよ。



うーん。



間接民主主義では、大半の
市民が望まない決定を
代表がすることがありえる。
そのために地方自治体では
住民が直接意思決定に関われる
ルートがあるんだ。



そうなんだ。

直接意思決定に関わる例

- 条例制定・改廃の請求
- 監査請求
- リコール
 - 議会の解散請求
 - 市長などの解職請求
- 住民投票



選挙は4年に1回ぐらいしか
ないし、一つ一つの政策内容
をチェックして投票するわけ

でもない。
4年の間には世の中もいろいろ
変わるだろう。
市町村では議会と住民の距離が近い
んだから、その気になれば
市民の意見を反映しながら、政策を
作っていくことは比較的簡単。
だから、よい市政を行うためには
議員は市民の声を意識して聞くべき
だし、市民もおまかせではなく、
一人ひとりがチェックしないと
いけない。

<議会の権限> (地方自治法)
 一、条例を作ること、改廃すること
 二、予算を定めること
 三、決算を認定すること
 四、地方税や使用料の徴収に関すること
 五、一定の契約の締結

.....
 全部で一五項目
 もちろんこれ以外のこともできる。



議会は実はすごい権限を持っている。

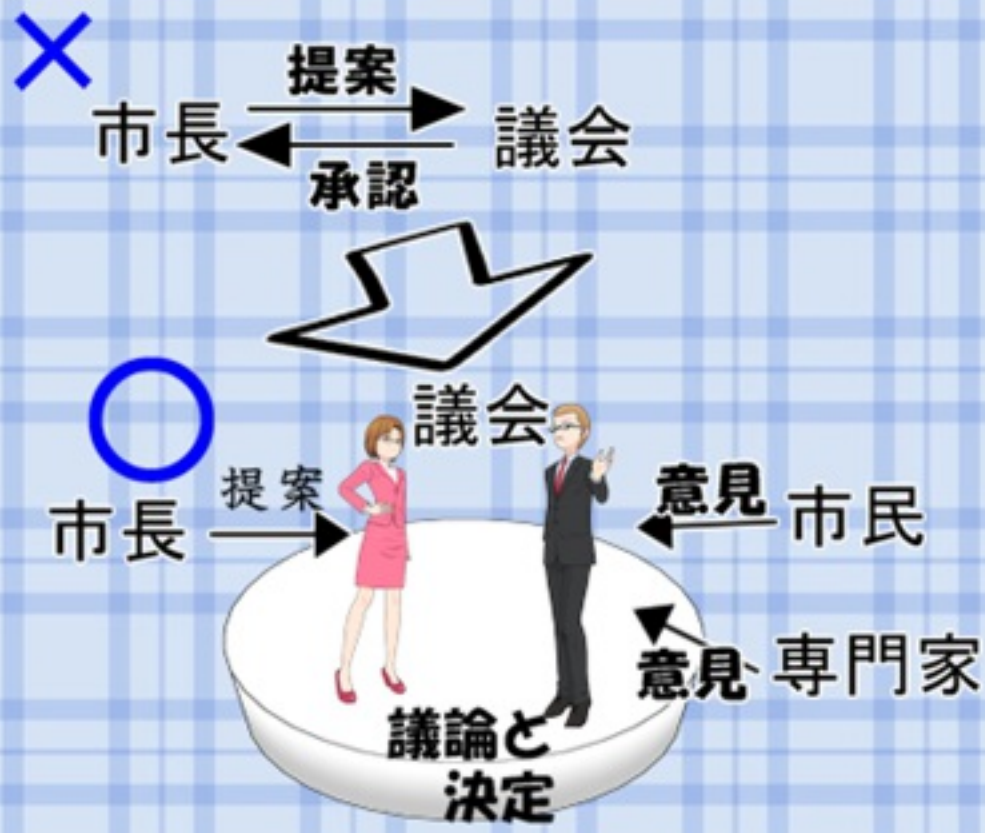


でも.....



大したことができないと思っ
 ているから「議会は不要」と
 か言う人が出てくる。

そんなこと言うけど、市長の力が強くて、議会なんて大したことができないのよ。

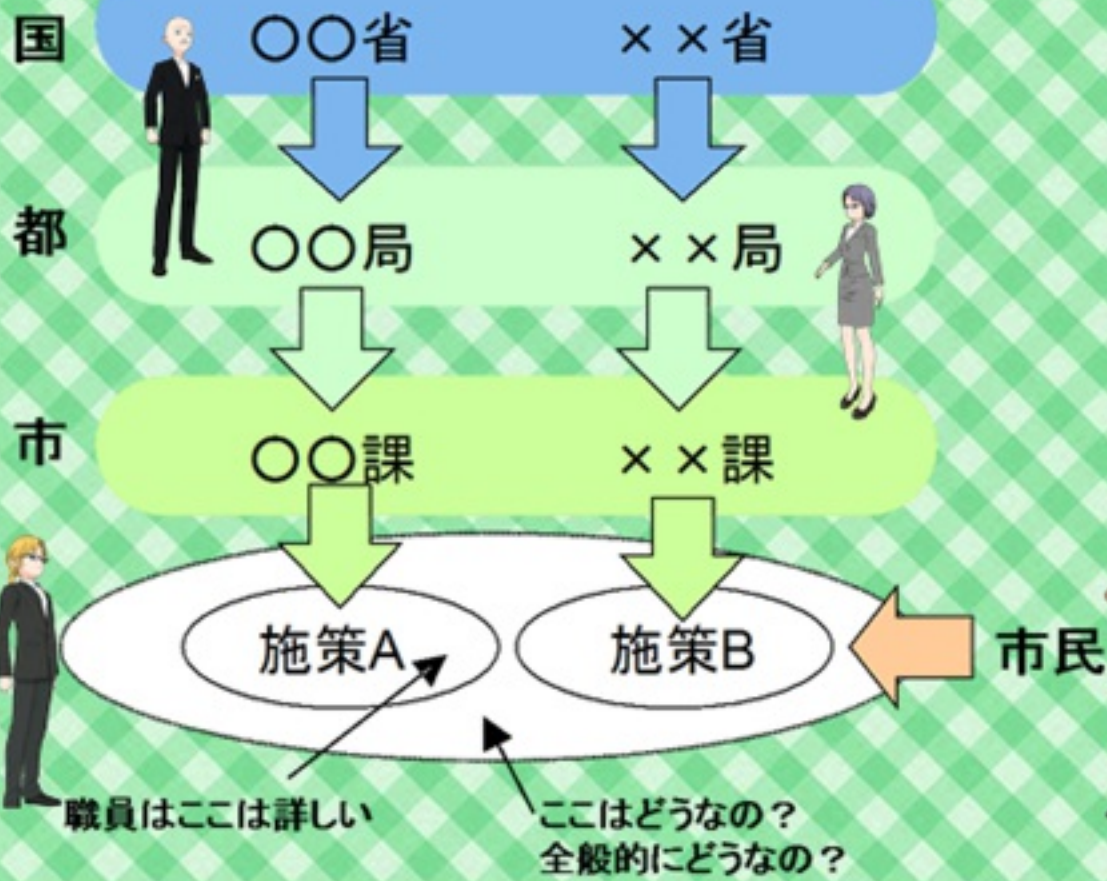


確かに市長の提案が多いのかも
 しれないけれど、議会が提案しては
 いけないという法はないし、
 決定する権限は議会にある。
 単に市長の提案に反応するのではなく、
 いろいろな情報を統合して最終的な
 決定をすることで、議会がとて
 ても大事な役割を負っていることが
 わかるだろう。



確かにそうだけど、提案するのは市長だし。

市長が書いた本をみると「議会が強すぎる」とあるものも多い。議会が議決しないとも決まらない。



では市の職員の方が詳しいに決まっ
 ている。でも、市民のニーズは縦割りに
 収まるものではない。市民の視点
 職員と同じ発想ではなく、市民の視点
 でみることで、存在価値がでるんだ。



そうはいっても、市長には何百人という職員が対抗できないわ。議員の人数では対抗

職員はここは詳しい
 ここはどうなの？
 全般的にどうなの？



議決態度は党派で決まってるんだから
議場での議論が世論に反映して・・・
なんてのは非現実的なんじゃないかな。

ふーん。
じゃあ、議論はなんのために
あるの？

相手を説得するため！

20点！

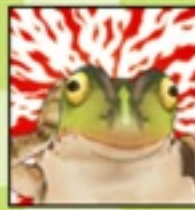
えー

相手だってあなたを説得し
ようとするじゃない。

僕は説得されないもん。

相手も説得されなかったら？

多数決。



多数決だったら負けてもOK

それはいや。
こっちの意見も聞いて欲しい。

だろう？
じゃ、逆の立場だったら？

多数決。即。

ひどい。
あなたみたいな人には
投票しないわ。

冗談ですよお。

相手の意見も理があつて、
両方にメリットがあるなら
相手に合わせて修正しても
いいんじゃない。

確かにそうだけど
相手のことを聞くのも
しゃくだなあ。

また子どもみたいなお話を



議論する意味はそれによって
案がよりよくなつていくこと
にある。

『三人寄れば文殊の知恵』さ
『船頭多くして船山に登る』
というのもあるけどな。

山に登れば大したものだ。
いろいろな角度から議論する
ことで政策をよくするという
役割が議会にはあるはず。
結論が変わる可能性がなければ
議論の意味がない。

だから無駄なんじゃないの。
議論したって。

議論が無駄ならば、議会も
無駄ということになるよ。

それは困る。

今の議会では会派の拘束など
により、議論の意味が薄れて
いる。議場では結果が見えた
消化試合になつている。
議会が八百長と朗読会といわれる
ゆえんだ。議会が必要とされるため
には、実効的な議論を市民に見える
ようにすることが必要だ。



ん、お疲れ様。

いやあ先生今日は助かりました。



確かに、議会の現状に即して考えれば、みんなのいうこともわかる

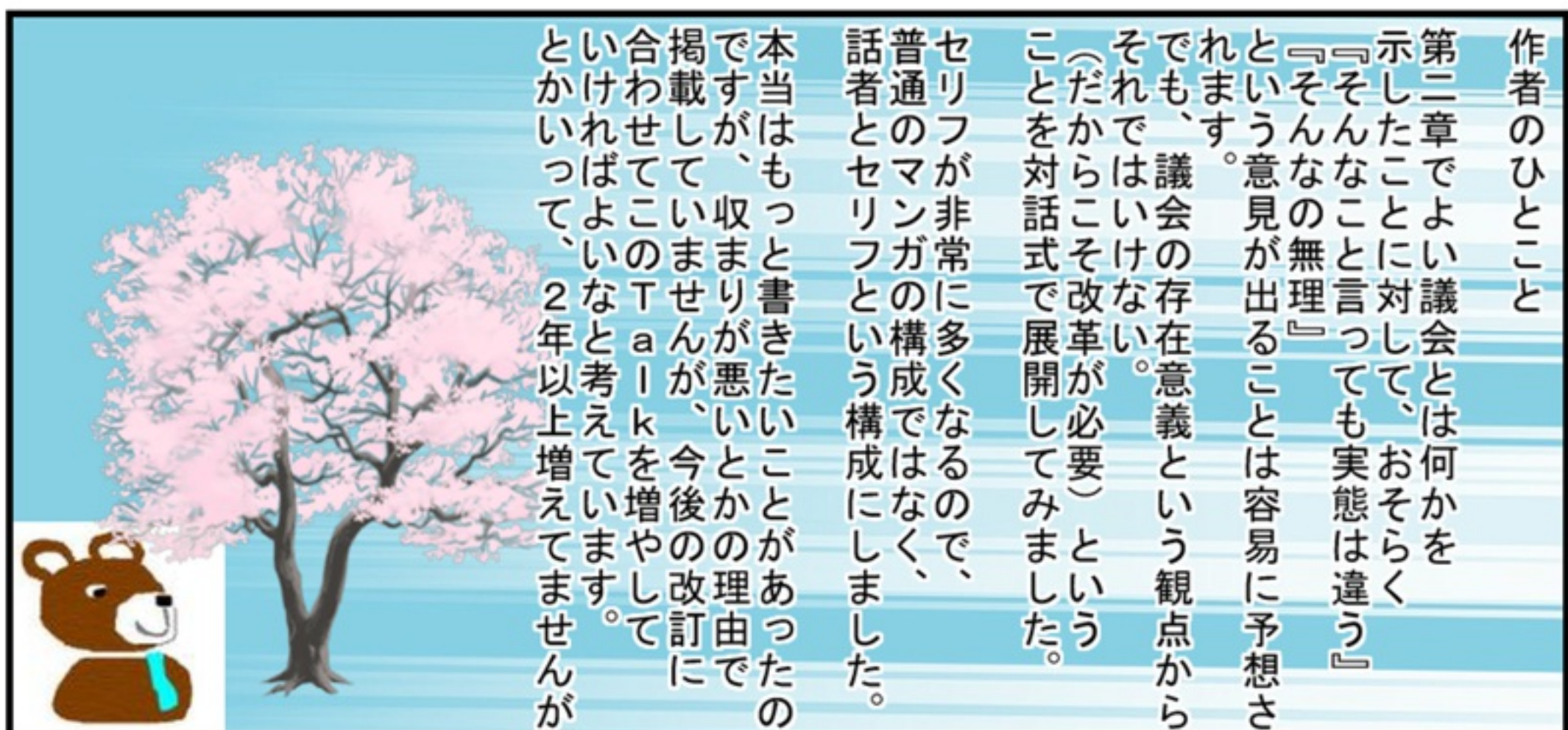
でもいまのままではいけないこともわかっていてる。

議会がよくなる効果もなかなかわかりにくい。

でもあきらめてはいけない。

これから一緒にがんばろう！

はいっ。



作者のひとこと

第二章でよい議会とは何かを示したことに對して、おそらく『そんなこと言っても実態は違う』『そんなの無理』という意見が出ることは容易に予想されず。でも、議会の存在意義という観点からそれではいけない。(だからこそ改革が必要)ということをお話式で展開してみました。

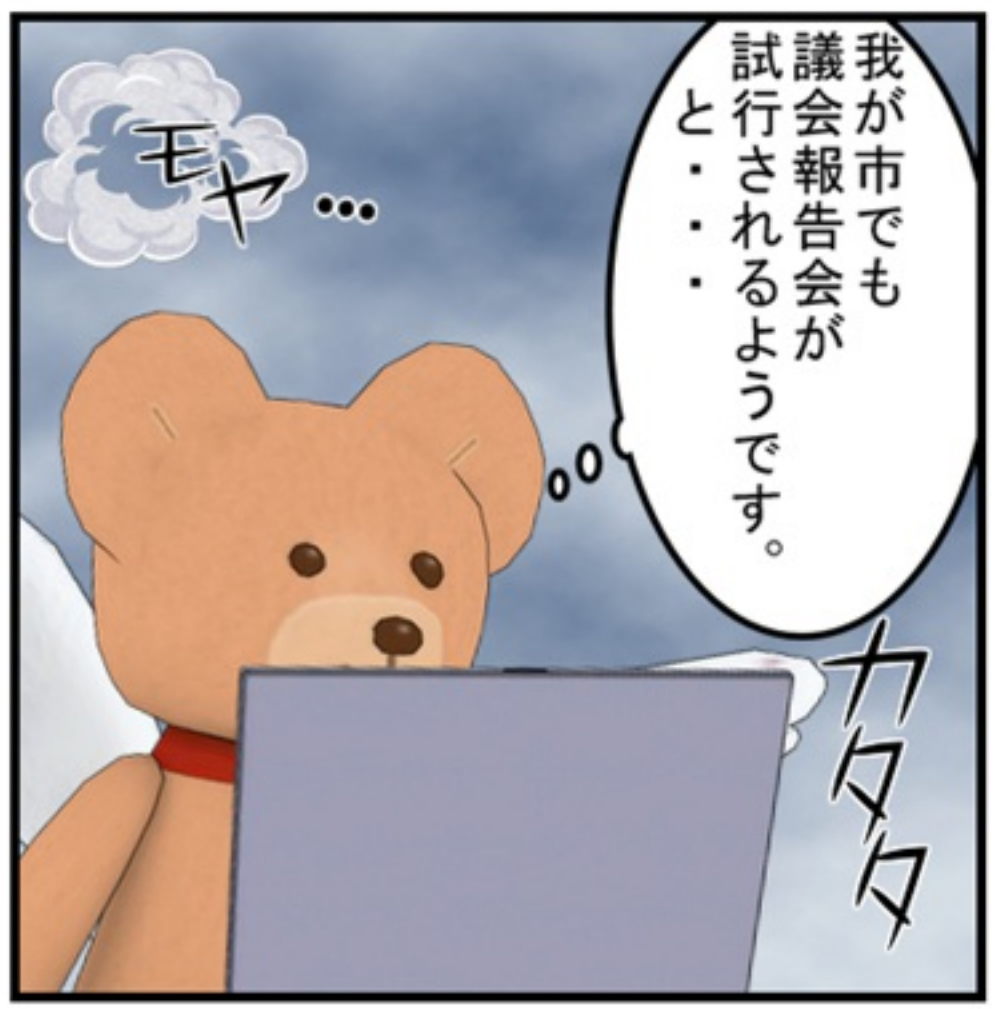
セリフが非常に多くなるので、普通のマンガの構成ではなく、話者とセリフという構成にしました。

本当はもっと書きたいことがあったのですが、収まりが悪いとかの理由で掲載していませんが、今後の改訂に合わせこのTalkを増やしていければよいなと考えています。

とかいって、2年以上増えてませんが。



第4章
議会報告会









でも、報告会を開いても参加するのは一部のプロ市民ばっかじゃないのかね。



(ちらっ)



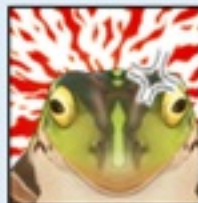
(はいっ)



いきなり何を・・・！
議員に対して失礼だぞ！



君は市民に失礼。



プロ市民？



普通の市民のふりをして
実は特定の政治的思想を
もった活動をする人をさす
らしい。でも実際はプロの



政治家が、気に入らないことをいう
市民を貶めるために使うことが多い
なっているな。



失礼しちゃう！



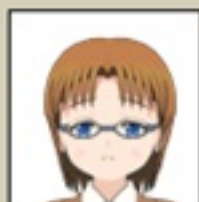
関心の高い市民をプロ市民と呼ぶことで、説明責任も市民との対話も避けようとすることを正当化してはいけないよ。



す、すいません。
気をつけます。



確かに、眉間にシワを寄せた口うるさそうな人たちが多く来そうなイメージがあるかも。



そういうところはちよつと行きにくいかも。



だからといって説明会をしないというのは間違い。むしろ、そういう人たちがばかりにならないよう、普通の市民にいかにも来てもらえるようにするかを工夫するのが議会の責任だ。



議会報告会になるとは議員の報告会とどこが変わるの？



いろいろな党が混ざったグループで説明することが多い。全員は登壇できないので、ローテーションを組んだり、地域を分けて分担したり、いろいろパターンがある。



意見の違う議員どうして喧嘩にならないかな？



それはそれで見てみたい。



先生！



それは冗談として。議題について個人的な賛否ではなく、どのような議論があつて、どのような決まったかを説明するんだ。



議会だよりとか議事録を読めばいいんじゃないの。



議会報告会では市民に説明し直接質問を受ける。その時、「こういう観点から議論はしなかったのですか？」とか「〇〇についてはチェックしなかったのですか？」とか、よく聞かれる。



ということとは・・・。
ロクに議論をしていないと市民からの質問に答えられないということか。



そういうこと。



市民のチエックを意識することで、議会での議論がよくなるということなのね。



そのとおり！市民の目が入ることによって議会をよりよくしていくためのものだから、市民が無関心ではよい議会にはならない。



議論の内容を淡々と説明するようなイベントにみんな来るのかな。



確かに、結果報告だけの報告会なら誰も聞きにいかない。だから、市民が面白く興味をもつて参加できるようにする

やりかたを工夫するとか。待っているだけではなく、市民が集まる場所にでていって説明をするとか、メディアを活用するとか、市民の中に入っていくことが議会をよくするために必要なんだ。無関心を市民のせいばかりにしてはいけない。



市政をよくするためには市民と議会がお互いに協力しながら、市政をチエックしたり、提案をすることが必要だけど議会報告会は議会と市民との協働の一つの重要な場なんです。

ポイントはこんなところだ



月 日 ()

- 一、報告としての議会
- 一、重要なコミュニケーション
- 一、説明すること
- 一、市民の導く過程
- 一、結論を導く
- 一、市民に説明できる
- 一、説明を通して、議場での議論を促し、議員が鍛えられる



作者のひとこと

私が議会関係に興味を持ったのは「市議会報告を聴く会」に参加してからでした。イベントに参加したり、その後会員として活動する中で、先に紹介した公開の議員研修会などにも参加してきました。

いまさらですが、このマンガは

「そもそも議会って何？」

「地方自治って何？」

というところからではなく、中学校の公民で習った程度の知識はあることを前提としています。

読者層としては、全く議会に興味がない人というよりは、少しは興味がある人を対象にしています。

内容的には小金井市以外の市にも当てはまる（第4章は議会報告会がまだ行われていない市対象）と思うので、広くいろいろな方に読んで頂ければと思います。

内容的にはまだまだの部分もあると思いますので、改訂版を今後出していこうと考えています。



第5章
選挙に行こう2015

使用上のご注意

すでに投票する候補者
又は政党が決まっている方は
読む必要はございません。

ポ
ン
ポ
ン



別に読んでもいいです。
はい。

2015年4月26日は
統一地方選挙で、多くの市町村議会の
選挙が行われます。
このマンガは少しでも多くの市民が
議会の選挙に関心を持ってもらい、
投票所に足を運んでもらうことを
考えて作りしました。



確かに投票に行くのは
大事なのはわかるんだけど

誰に投票したらよいか。
全然わからないな。
そもそも知ってる人も
いないし……。





しつもん

情報をあつめるのはいいけど、
みんないいことは言ってるし、
どう選んだらよいいんでしよう。

基本は自分で考えるべき・・
と、いっちゃ、身も蓋もないから
私の考え方を話しよう。
でも、人によって考え方は
違って当然で、正解はない。
あくまで参考にな。



その1
考え方やテイストが近い人を選ぶ

友達や彼を
選ぶ感じ？

考え方が近ければ、議案に対する
態度や問題認識も自分に
近いだろうという一つの仮定ね。



その2 興味が近い人を選ぶ

何が市政の問題と考えているか、
優先順位はどうかということだな。

選挙広報にあれもこれも書き込む
いる人もいるけど、ブログとかで
どの位深く考えているか、
チェックするのいいと思う。



その3
市政のことを考えているか？

市議会議員なんだから
市のことを考えるのは
当たり前でしょ？



もちろんそうだけど、
「市議選で一定会派の支持を
増やすことで〇〇政権を
バックアップしましょう」
とか、逆に
「プレッシャーをかけましょう」
と、訴える人もいるけど、
個人的にはどうかと思うね。
そういう議員は市民の意見より
党中央の意見を重視するのでは？

もちろん、そういう
考え方もありえる
から、そこを考慮の
上で有権者が選択す
ればいいのさ。



その4
無責任なことを言っていないか。

・と書いてみたけど、これは見極めが難しい。でも、議会の役割をわかってるのだろうか。と思う人も時々いるよね。

例えば、いきなり国政の話をする人。そりゃ大事だけど。



あと、小金井市の場合で言えばゴミ問題を議員が直接解決するのはとても難しいんだけど、選挙でついでに私が解決します」と言っちゃう人も市民から「議会は何してるんだ」と問われると「議会には交渉権がない」とか言ってみたり。「議会には交渉権がない」とか言ってみたら。確かに正しんだけど、そういうのは議会の信用を落とすことになるよね。

ポイント 一票が重要!

でも、情報収集して、そこまで考えても、結局は一人一票だからな。一人ぐらい投票しなくてもあまり影響ないよね。



それも選挙に行かない大きな理由の一つ

でも、これを見てみて。



2005年は3票差で当落が決まっているのか・・・

小金井市市議会議員選挙結果

2001年			
最下位当選	K氏	1051票	
次点	N氏	1039票	
2005年			
最下位当選	K氏	1053票	
次点	T氏	1050票	
2009年			
最下位当選	N氏	987票	
次点	I氏	950票	

総投票数に対する割合で0.01%以下の差・・・それがこそきみの一票で結果が変わる可能性だってあるんだ。他の市でも調べてみれば議会議員の選挙の当落は僅差のことが多いと思うよ。

改めて
選挙に行こう2015!

わかってほしいことは
投票したかどうか
見られているという
ことだ。

いや〜！
ストーカー？

不正選挙か！



そうじゃなくって...

誰に投票したか
なんてことは
わからないよ。

だけど、投票に来たかどうかは
わかる。そして、年齢ごとに
地区ごとにどれぐらいの投票率かは
市役所はわかっているし、議員さん
や選挙に詳しい人は知ってる。

そりゃそうだ。
入場券は回収されるし。
だからどうだと？



つまり、若者が
あまり投票しない
というのを
議員さんも
候補者も
知っている。
ということ。

そしてそうと知った上で、行動する
ということだ。

そうすると若い世代に支持される
施策には積極的にならない。
ということ？



そんな単純な話じゃ
必ずしもないけど。

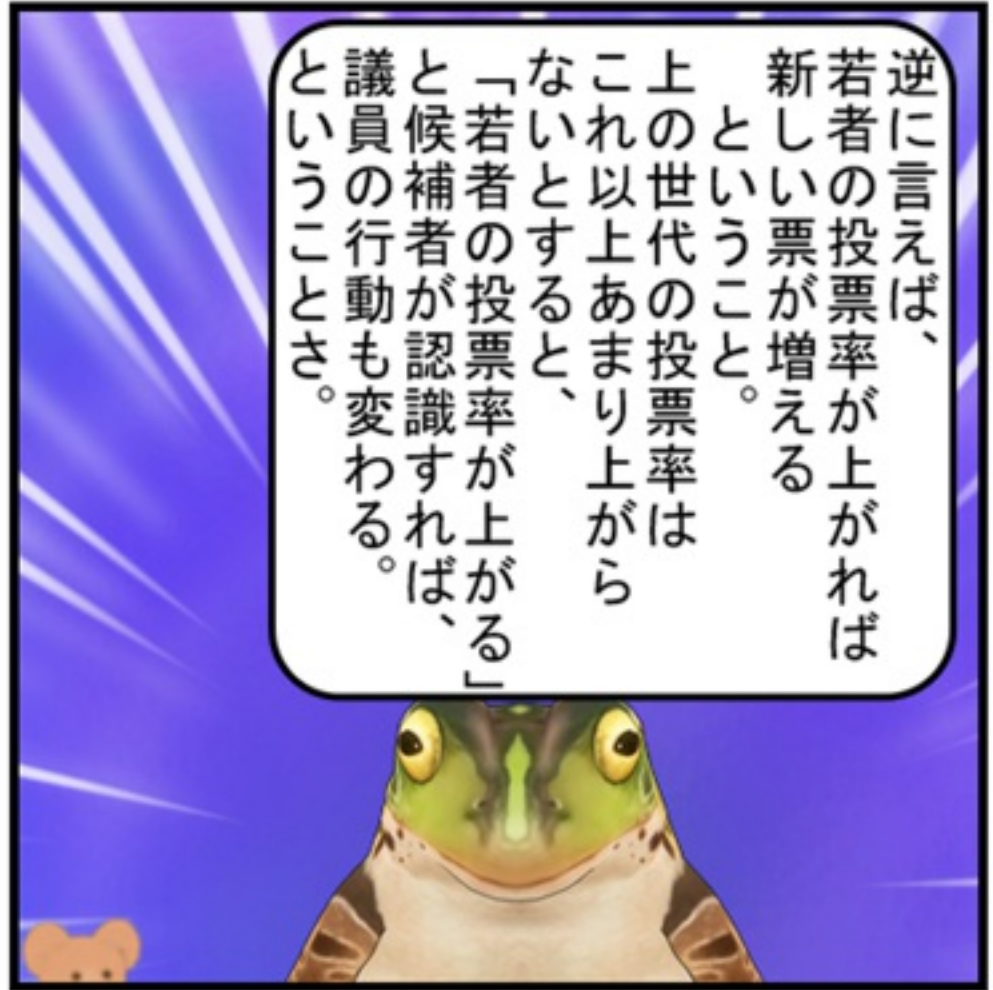
選挙のことを考えると
やっぱり誰が投票に来るか
考えちゃうよね。

子育て世代に対する社会保障が
他の国に比べて少ないのも
そういうことが影響している
のかもしれない。
選挙で議員を選んでい
るつもり
かもしれないけど
**実は市民の方が選別されている
かもしれないよ。**

確かに、買ってきてくれないお客の
要望は聞いてくれない、
ちよつと例えが違うか...



逆に言えば、
若者の投票率が上がれば
新しい票が増える
ということ。
上の世代の投票率は
これ以上あまり上がら
ないとする、
「若者の投票率が上がる」
と候補者が認識すれば、
議員の行動も変わる。
ということさ。



3票差で結果が変わる市議会選挙、
私たち若い世代が変われば、市政も
変わるかもしれない。
・・ということですね。



そうだ。
他人任せではなく。
まず自分から変える。
それが街をよく変える
ことにつながるんだ。

さすが！
「カエル」先生
本領発揮ですね




こら、
ちやかすんじゃ
なくい！

いろいろ言ったのに
いつの間にか

ははははは

はっはっは~





作者より

2012年12月によい議会ってなんだろうの
1～4章を公開、翌年1月には小金井市議会選挙を前に
第5章を加えて公開しました。

今回は統一地方選挙を前に、一部を改定して
特に若い世代に投票に行ってほしい。

という願いを込めて作成しました。

一人ひとりの力で世の中はよくすることができる。

批判するだけでなく、少しでも力を出すことができれば
社会は少しずつでもよくなっていく。

その小さな一歩として投票というものがあるのではないかと
おもいます。

改めて、このマンガの題材となった研修をいただいた
法政大学廣瀬先生、山梨学院大学江藤先生、
東京財団中尾先生。小金井市議会の議会運営委員の皆様。
議会改革に向けて活動してきた仲間たち。
その他皆様に感謝申し上げます。

よい議会ってなんだろう
制作 Tatsuloupy
Blog. 「市民財政白書ラボ」
(市民財政白書で検索)